

「海と日本人」に関する意識調査結果

2019年7月12日



調査概要 「海と日本人」に関する意識調査

目的	世界的に海洋危機が叫ばれる中、現在の日本人の海への意識、行動の実態を明らかにすることで、日本人と海との関わりにおける課題を抽出し、今後の海との関係性向上に貢献する
対象	全都道府県15歳～69歳の男女 (男性5,800 女性5,800)
回答数	有効回答数 11,600 10代(15～19歳) 2,200 20代～60代 9,400 (各都道府県200 性年代均等)
期間	2019年5月24日～6月3日
方法	インターネット調査

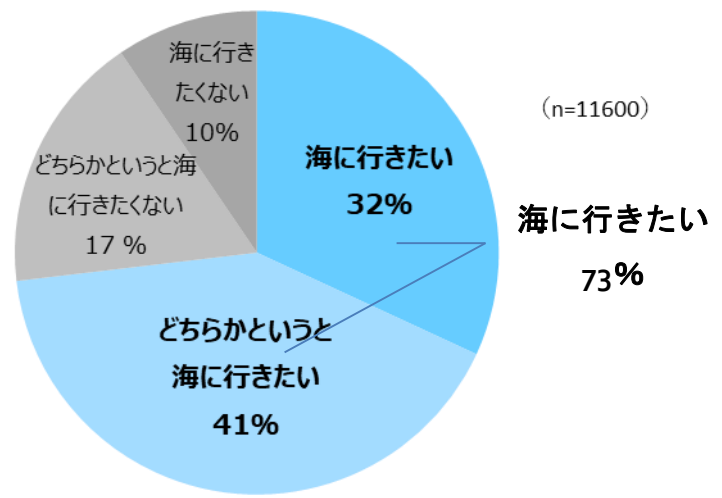
海との関係性・行動意向

海との関係性・行動意向

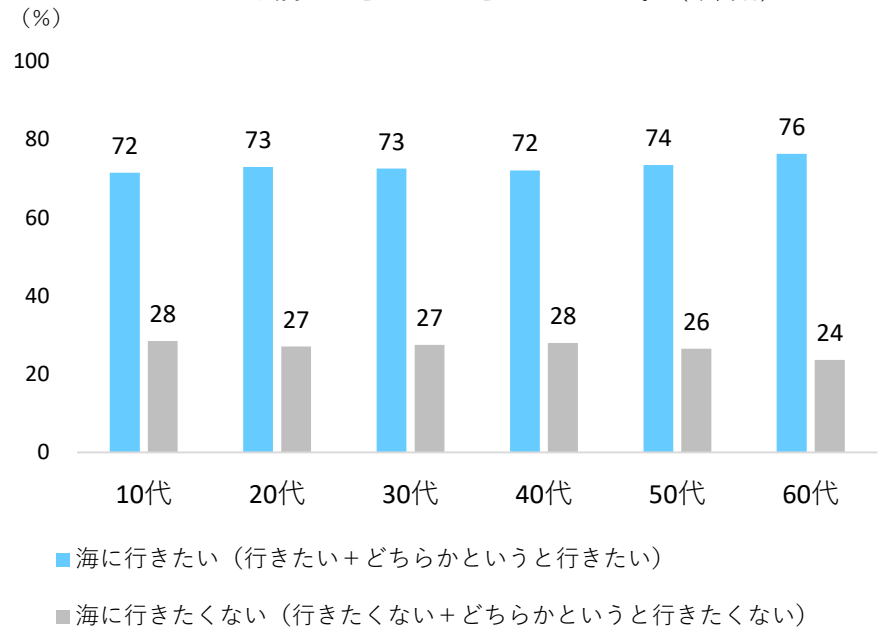
7割が「海に行きたい」

- ・「海に行きたいか／行きたくないか」の質問では、7割が「海に行きたい」と回答。
- ・年代別でも、どの年代でも7割を超え、大きな差分はみられない。

「海に行きたいか／行きたくないか」と聞かれた場合のあなたの気持ちに近いものを選んでください。



「海に行きたいか／行きたくないか」と聞かれた場合のあなたの気持ちに近いものを選んでください。(年代別)



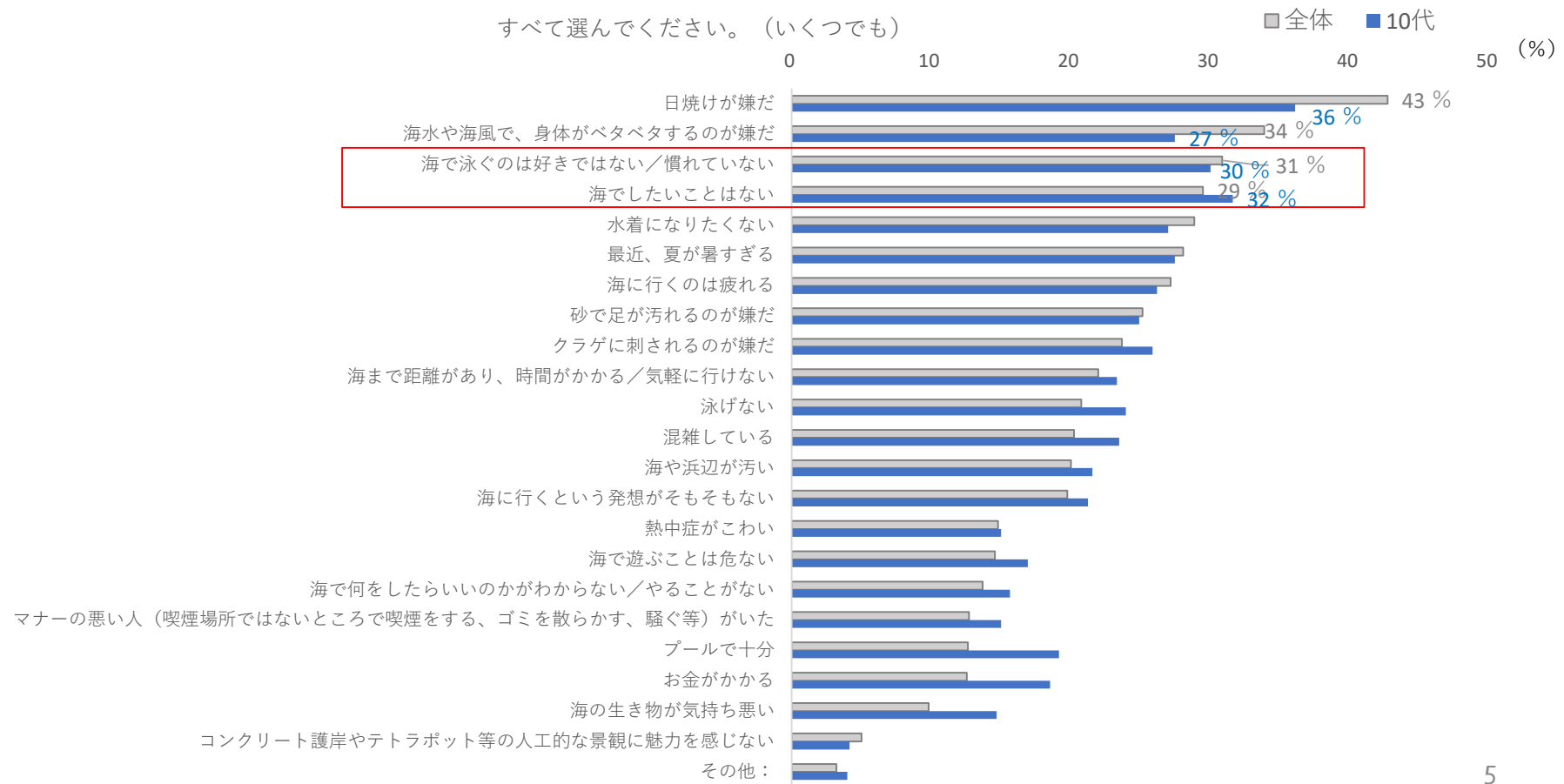
※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

海との関係性・行動意向

「行きたくない理由」

- ・全体では「日焼けが嫌だ」（43%）、「海水や海風で身体がベタベタするのが嫌だ」（34%）
- ・10代では「海で泳ぐのは好きではない／慣れていない」（31%）「慣れていない」（30%）がトップ3に入ってくる

海に行きたいと思わない、その理由にあてはまるものがあれば
すべて選んでください。（いくつでも）

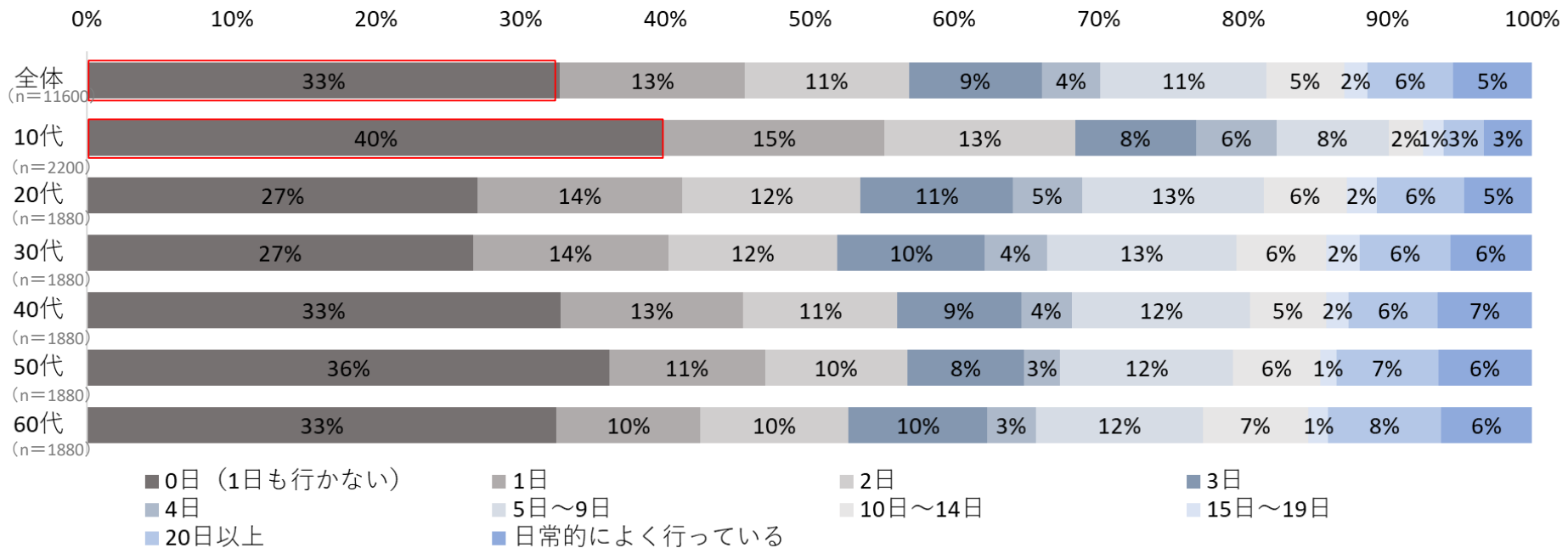


※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

全体の3分の1が「この1年海に行っていない」

・特に10代では、4割が「0日」と回答する結果となった

この1年間で海に行く／海に接する機会



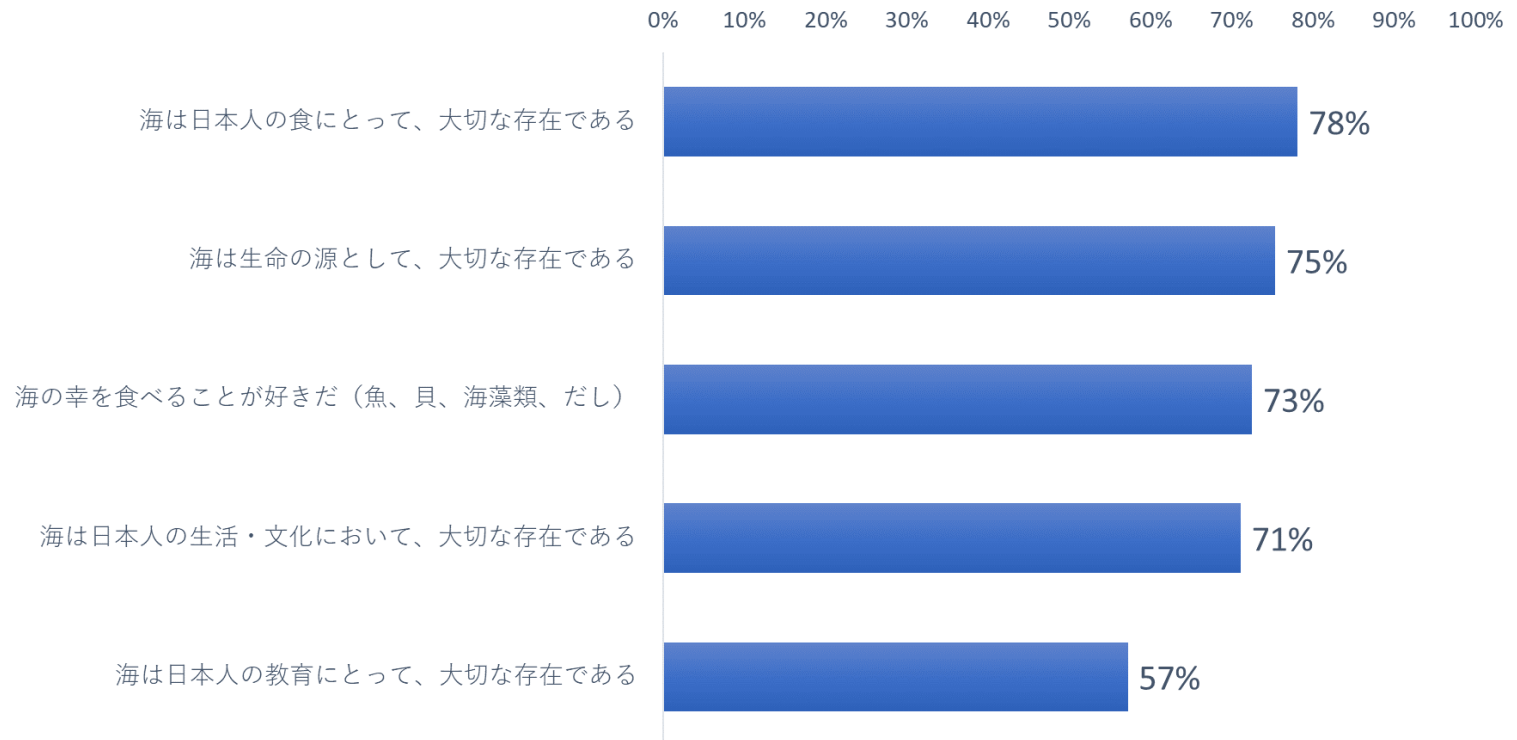
海との関係性・行動意向

海に対する意識 「日本人の食にとって大切な存在」(78%) がトップ^o

ほかには、「生命の源として大切な存在」(75%)、「日本人の生活・文化において大切な存在」(71%)が高く、「海の幸を食べることが好き」(73%)、や「日本人の食にとって大切な存在」(78%)と、食への関心が高い結果となった。

海との意識・関係性 あてはまると答えた方

(n=11600)



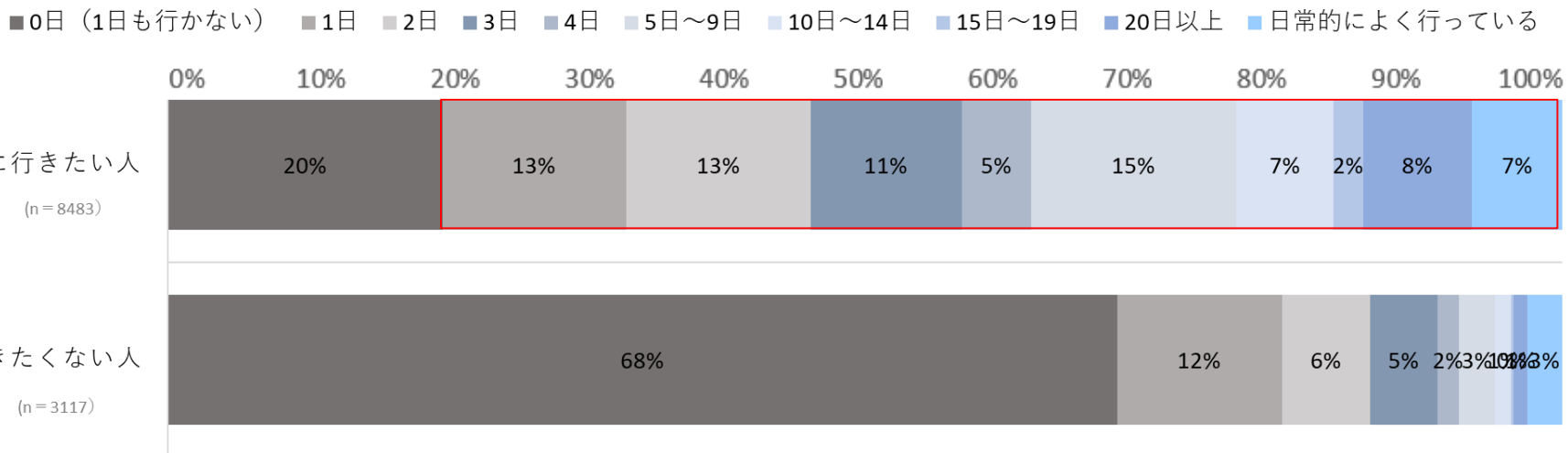
※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

海に「行きたい」の特徴

海に「行きたい」 - 今の海体験日数 -

8割が、この1年で1日以上海へ行っている／海に接している

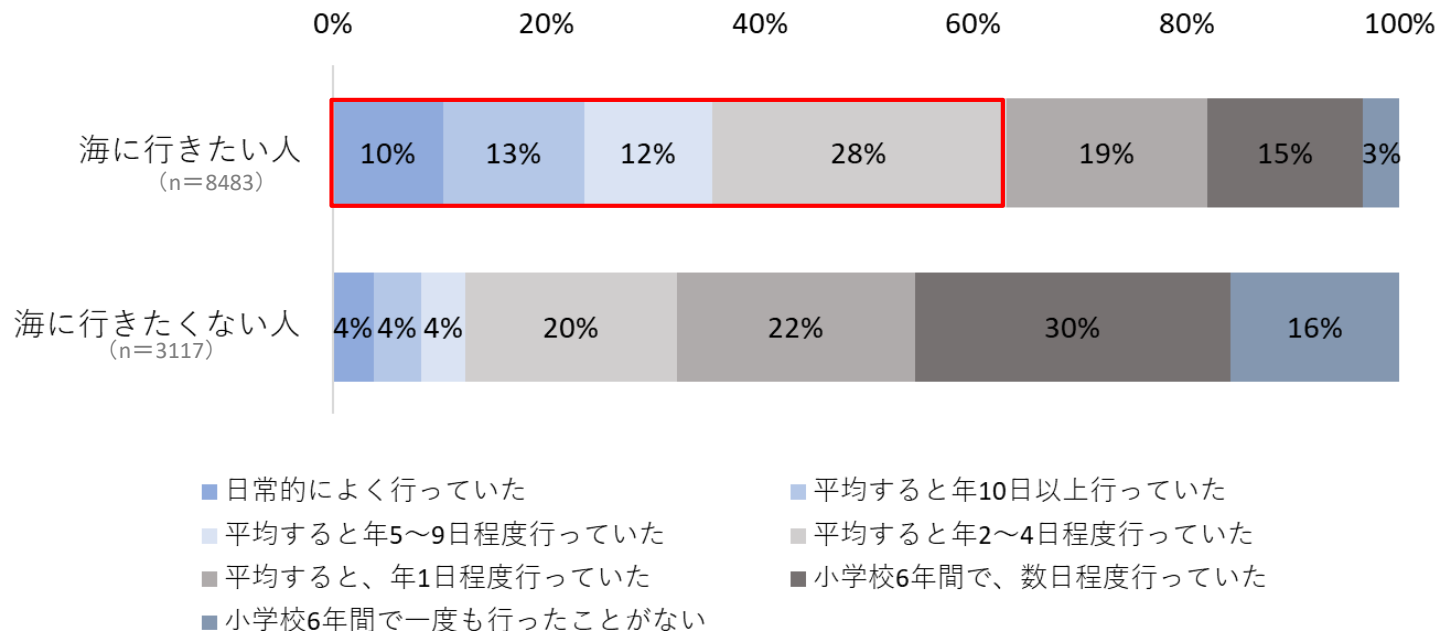
この1年を振り返ってお答えください。
海に行く、海に接する機会があるのは、年に何日くらいですか。



海に「行きたい」 - 子どもの頃の海体験日数 -

子どもの頃、「年に2~4日以上」海に行っていた人が63%

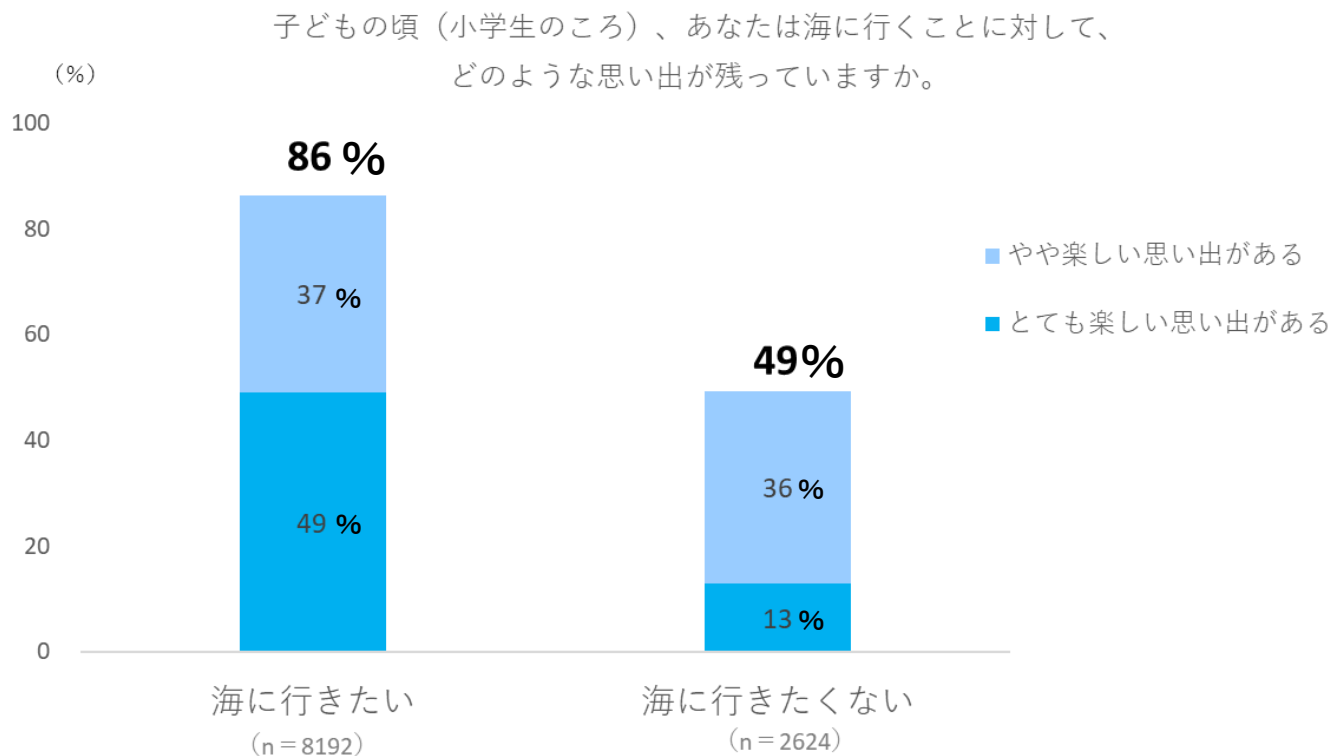
子どもの頃（小学生のころ）の、海の体験についてお伺いします。
どのくらいの頻度で海に遊びに行っていたかお選びください。



海に「行きたい」 – 子どもの頃の海の思い出 –

86%が、子どもの頃の「楽しい海の思い出」をもっている

うち2人に1人は「とても楽しい思い出がある」と回答

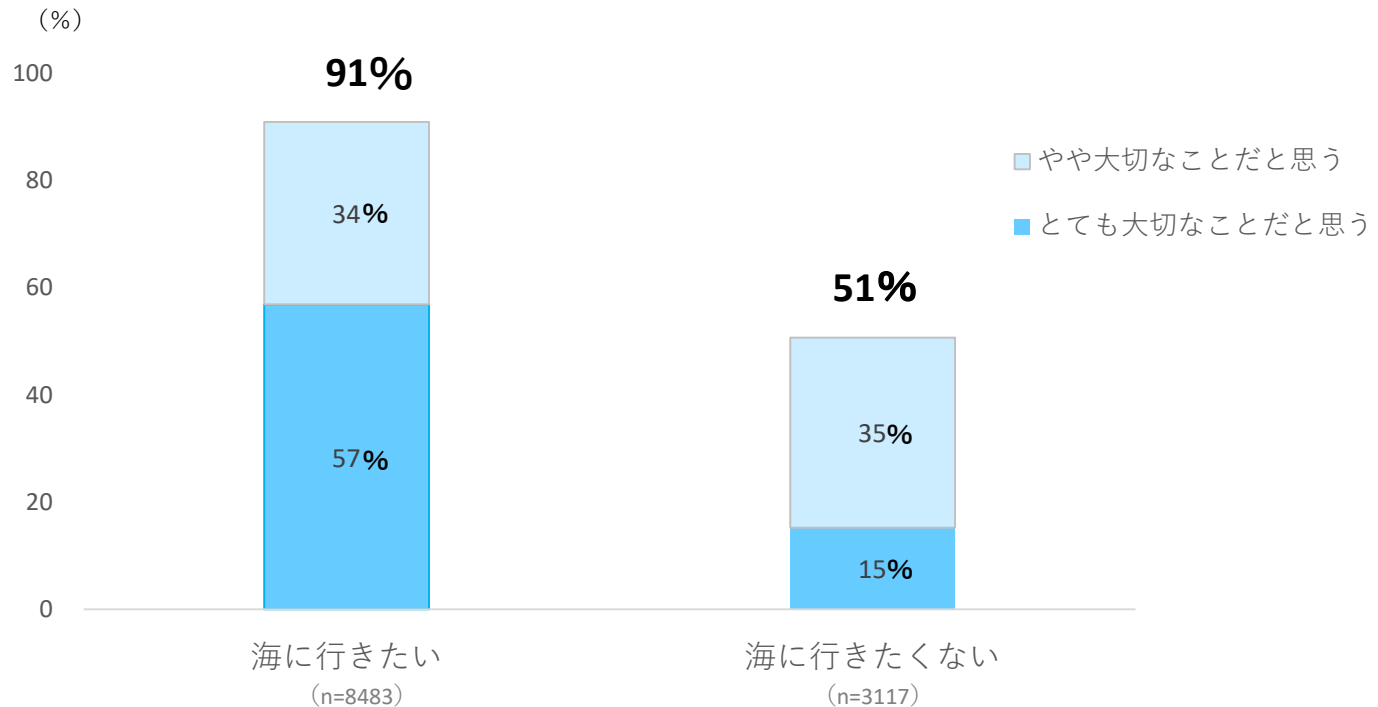


対象者：子どもの頃（小学生のころ）海に行った経験のある方（n=10816）

海に「行きたい」 – 子どものうちに、海体験があることについて –

9割が「子どものうちに海体験あることが大切だと思う」と回答

子ども（未就学～10代）のうちに、海とのふれあいがあること／海体験があることについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

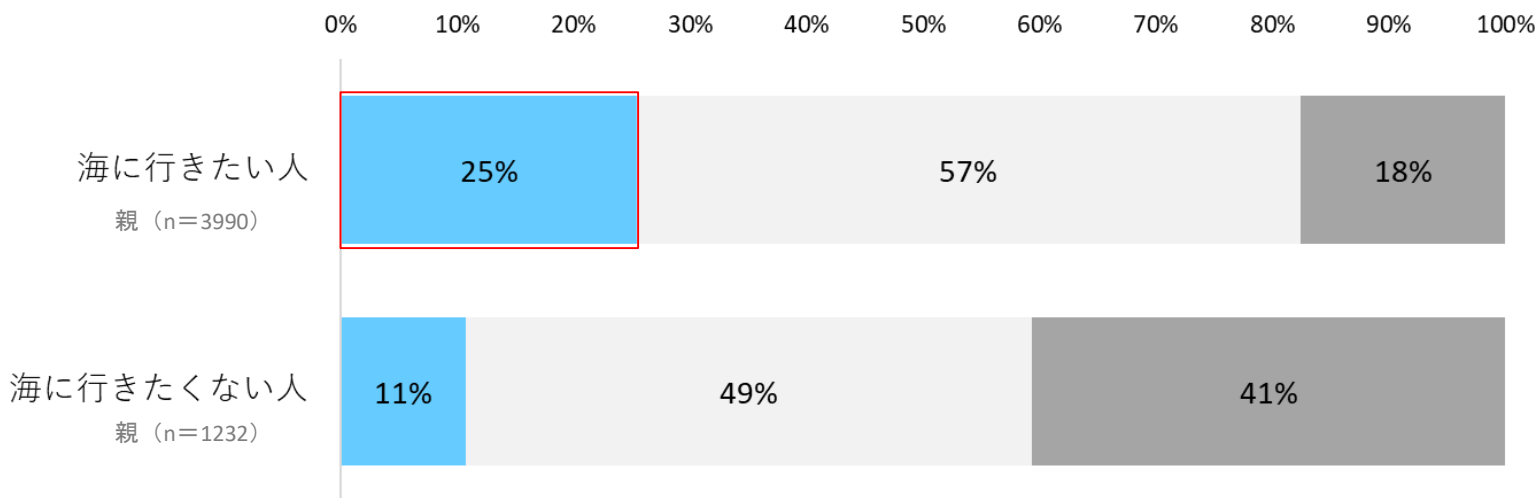


自身の子に「十分に海体験を提供できている」親は25%

ご自身のお子さまの海体験について、あてはまるものをお選びください。

※なお、この場合の提供とは、親御さんが海に連れて行くこと以外に、親以外の大人によるものも含まれます。（例：祖父母、親族、学校、地域、部活やクラブ等）

※なお、お子さんが既に成人されている場合、小さいころ（未就学～10代）の頃でお答えください。

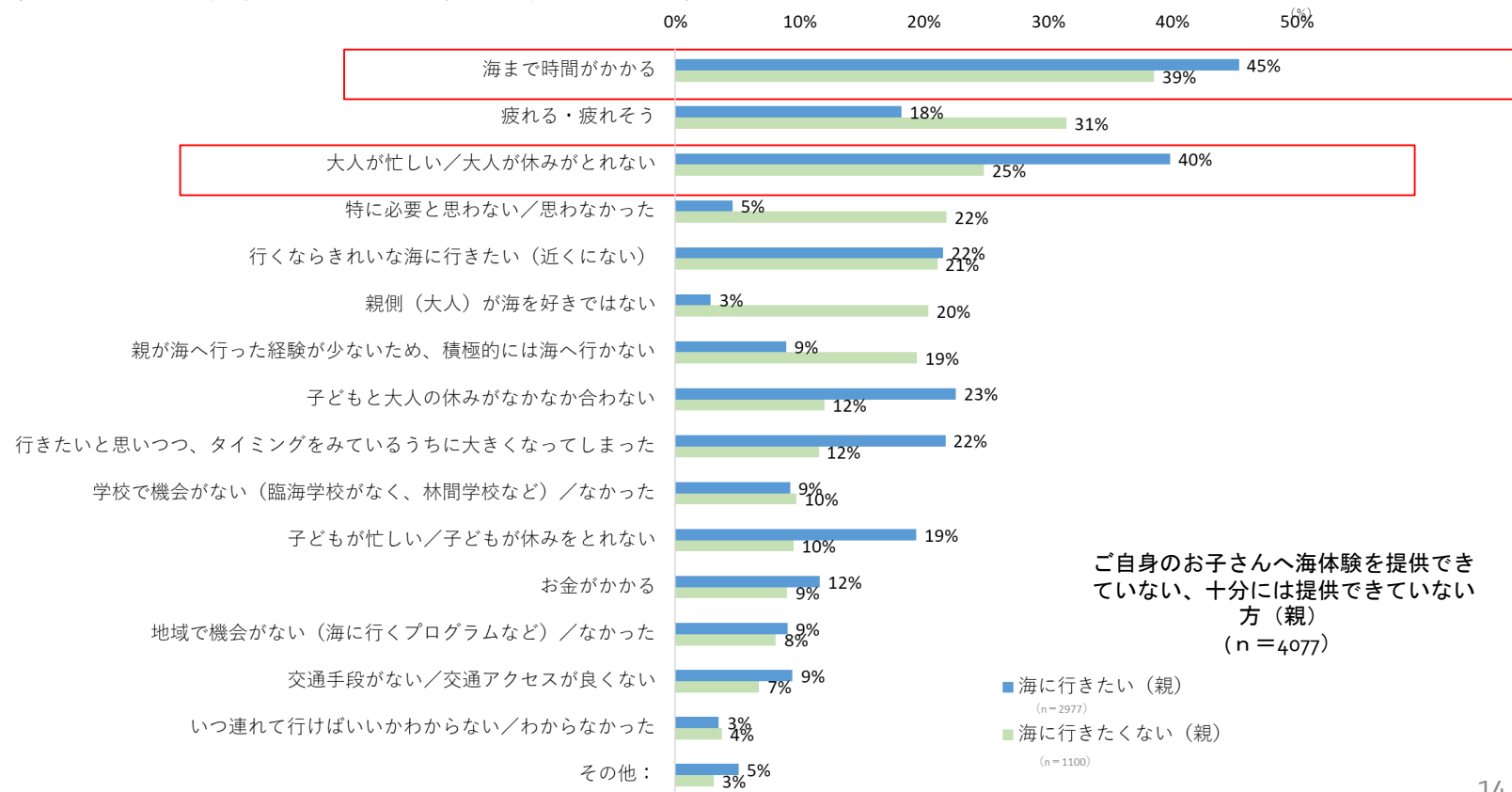


- 海体験を十分に提供できている / 十分に提供できた
- 海体験を提供できているが、十分であるとはいえない / 提供できたが、十分とはいえなかった
- 海体験は全く提供できていない / 全く提供できなかった

海に「行きたい」 – 自分の子どもへ海体験が提供できない理由 –

提供できていない理由として「海まで時間がかかる」(45%)、「忙しい」(40%)が多い

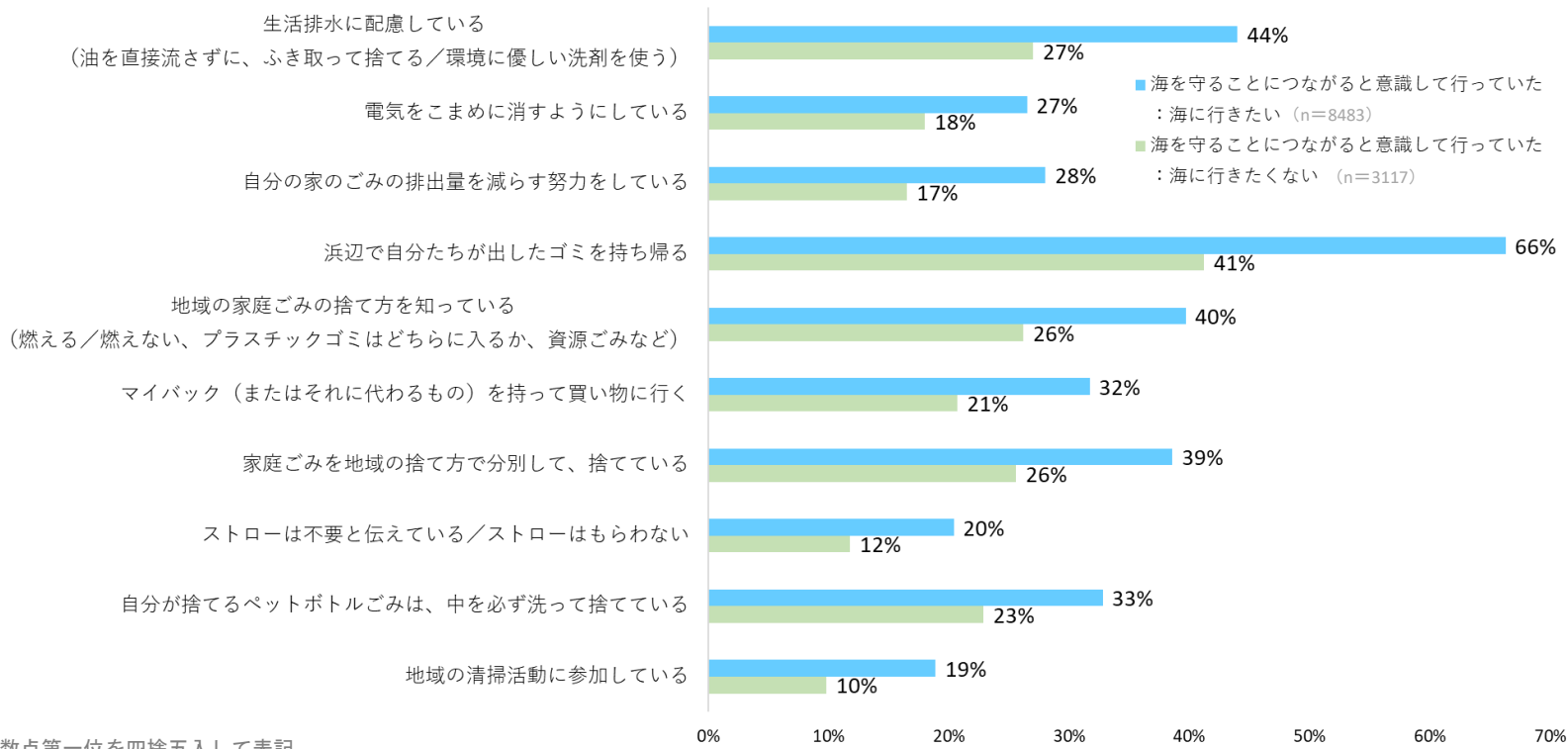
ご自身のお子さまへ海体験を、提供できていない／十分には提供できていない（いなかった）方にお聞きます。その理由について、あてはまるものがあればお選びください。（いくつでも）



海に「行きたい」 – 海を守る行動について –

**「海の豊かさを守ることを意識している行動として、
「浜辺で自分たちが出したゴミを持ち帰る」(66%) や
「生活排水に配慮している」(44%) が高かった。**

豊かな海を守ることに繋がると意識して行っていたかどうか (%)



※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

海に「行きたい」の特徴まとめ

- ✓ 「海へ行きたい」という気持ちは子どもの頃の原体験と関係
→子どもの頃に海に行っている／海で楽しい思い出がある
- ✓ 子どものうちに海体験があることは9割が大切だと思っている
- ✓ 実際には海に行くことができておらず、
自身の子どもへも、十分には海体験を提供できていないと感じている
→行けない理由は「海まで時間がかかる」「忙しい」「休みがあわない」
といった物理的な理由が目立つ
- ✓ 自分の普段の行動が「海」にどのように関係しているのか、
意識している方が多い
→浜辺で出したゴミを持ち帰る、生活排水に配慮している、などといった
行動に現れている

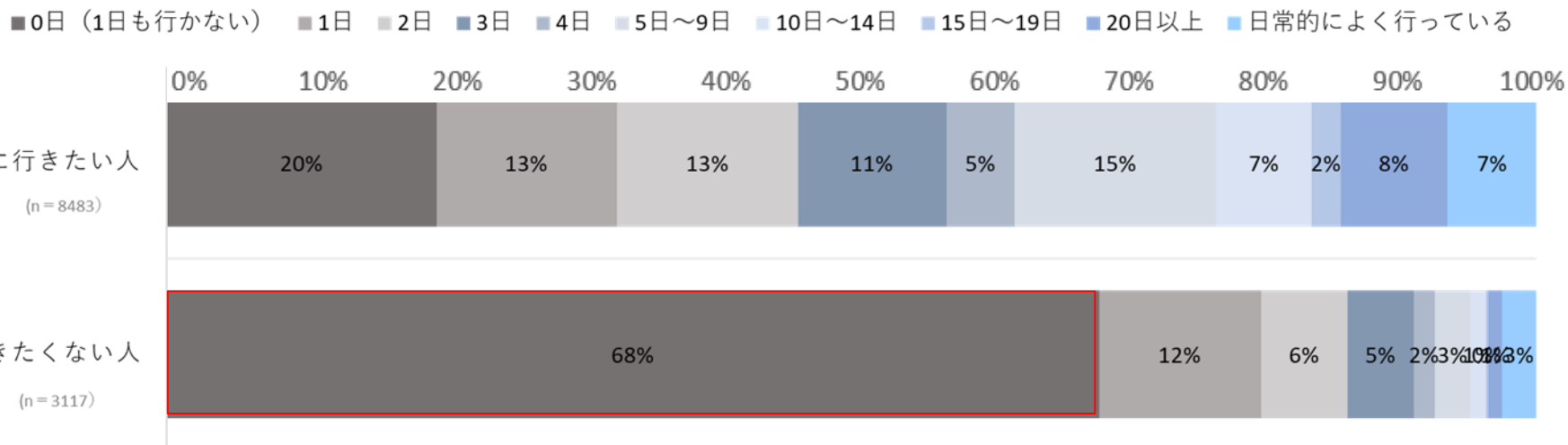
海に「行きたくない」の特徴

海に「行きたくない」 - 今の海体験日数 -

68%がこの1年で1日も海に行っていない

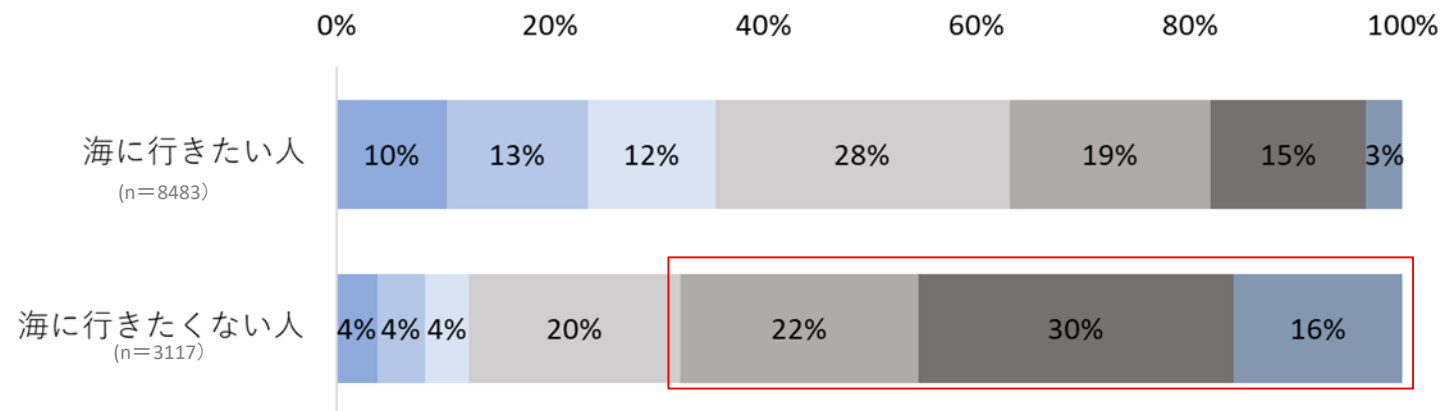
この1年を振り返ってお答えください。

海に行く、海に接する機会があるのは、年に何日くらいですか。



子どもの頃の海体験 68%が「年1日程度」か「それ未満」、であった

子どもの頃（小学生のころ）の、海の体験についてお伺いします。
どのくらいの頻度で海に遊びに行っていたかお選びください。

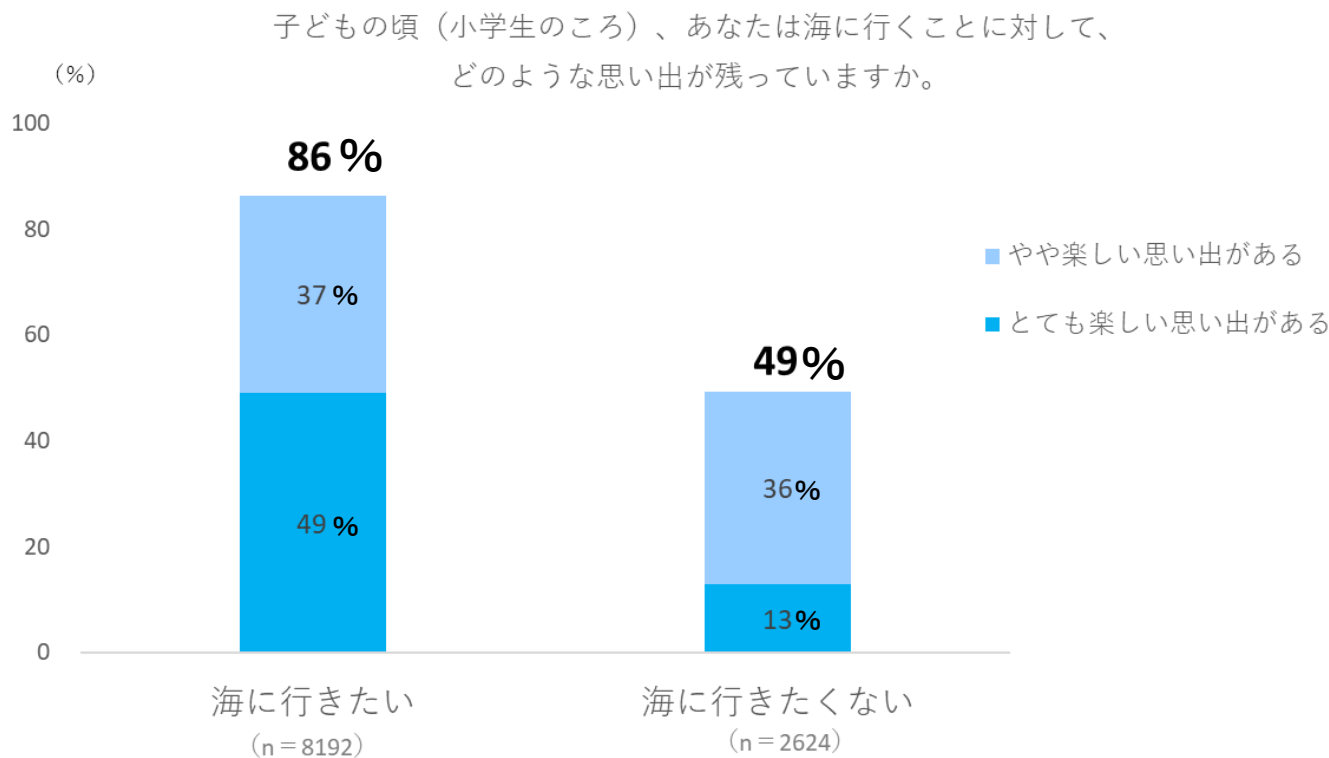


- 日常的によく行っていた
- 平均すると年10日以上行っていた
- 平均すると年5～9日程度行っていた
- 平均すると、年1日程度行っていた
- 小学校6年間で、数日程度行っていた
- 小学校6年間で一度も行ったことがない

※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

海に「行きたくない」 – 子どもの頃の海の思い出 –

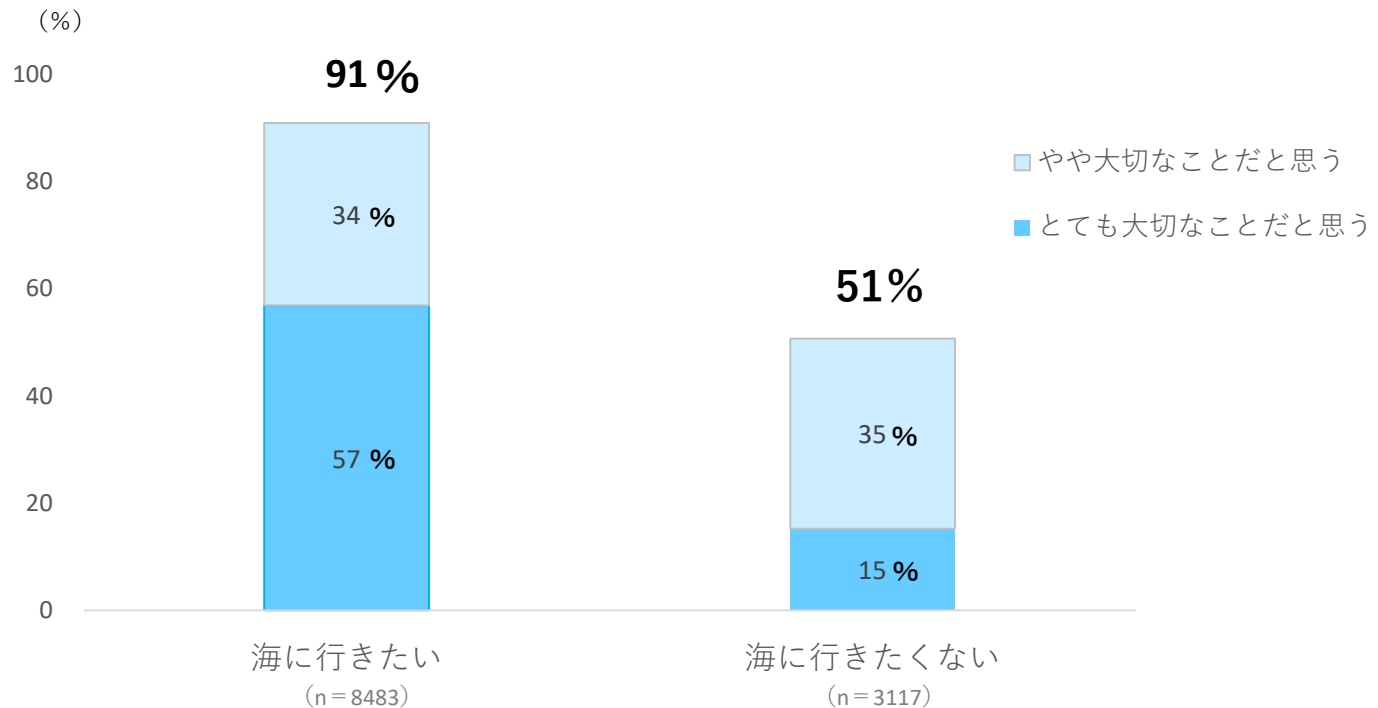
子どもの頃の「楽しい海の思い出」をもっている人が5割以下



対象者：子どもの頃（小学生のころ）海に行った経験のある方（n=10816）

子どもの頃の海体験は大切であると回答した人は5割程度

子ども（未就学～10代）のうちに、海とのふれあいがあること／海体験があることについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

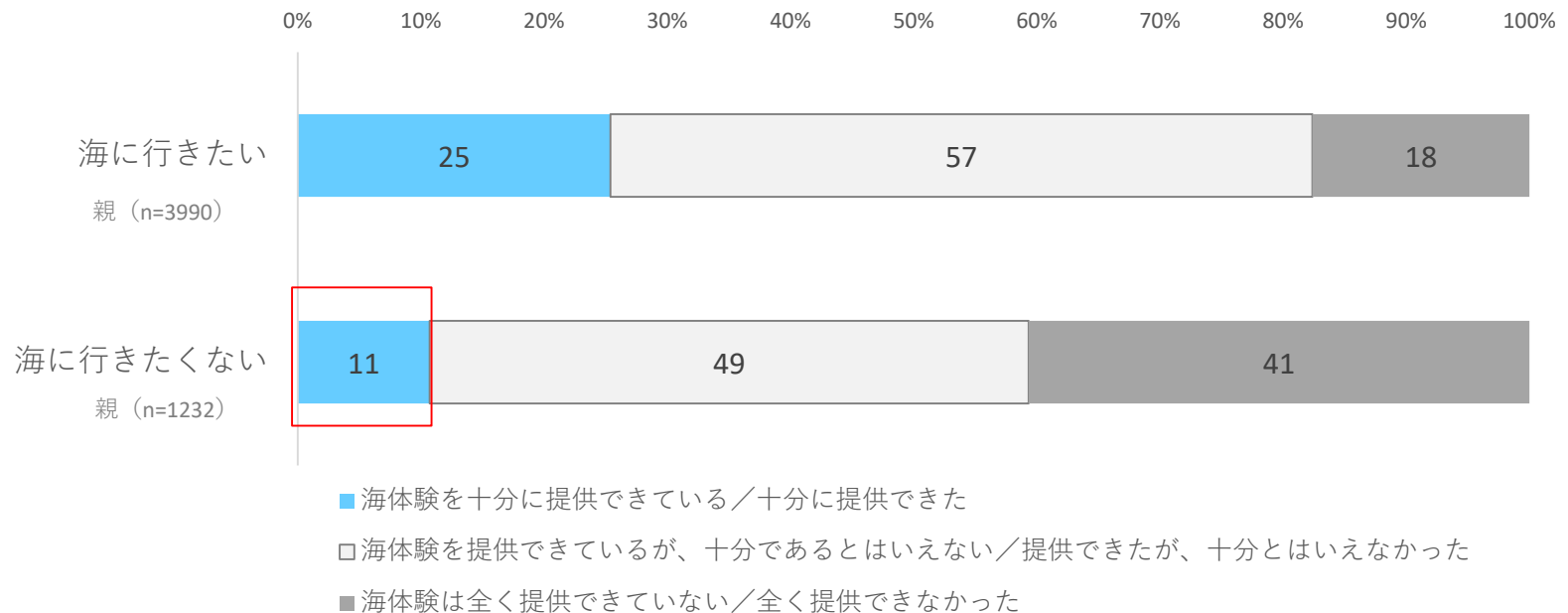


自身の子に十分に海体験を提供できている親は11%

ご自身のお子さまの海体験について、あてはまるものをお選びください。

※なお、この場合の提供とは、親御さんが海に連れて行くこと以外に、親以外の大人によるものも含まれます。（例：祖父母、親族、学校、地域、部活やクラブ等）

※なお、お子さんが既に成人されている場合、小さいころ（未就学～10代）の頃でお答えください。



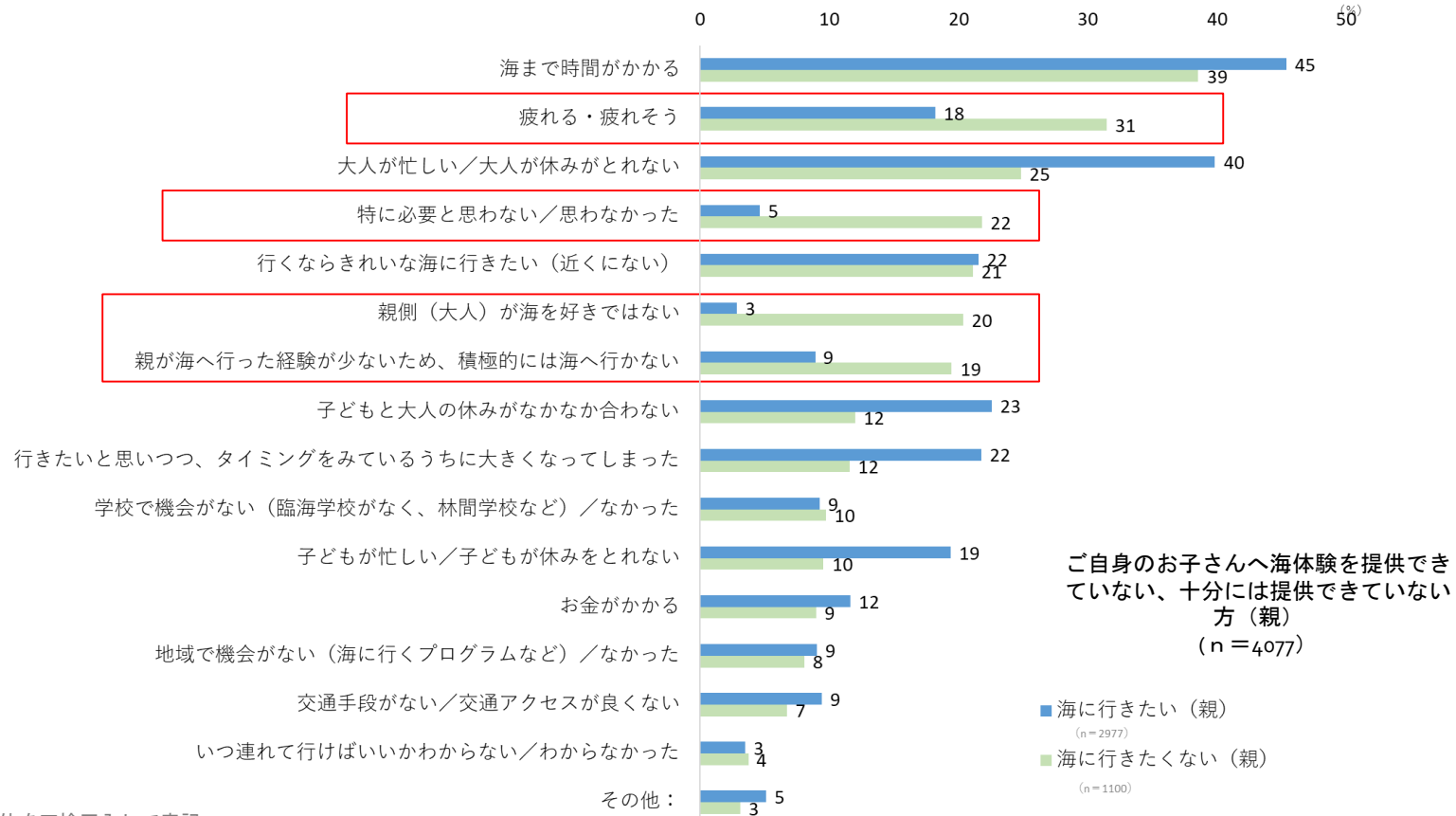
海に「行きたくない」 – 自分子どもへ海体験が提供できない理由 –

理由で突出したもの

「疲れる・疲れそう」「特に必要と思わない」「親側が海を好きではない」
 「親が海へ行った経験が少ないため、積極的には海には行かない」

物理的な理由以外にも、海に行く体験が少ないことから出てくる項目が目立った。

ご自身のお子さまへ海体験を、提供できていない／十分には提供できていない（いなかった）方にお聞きます。
 その理由について、あてはまるものがあればお選びください。（いくつでも）

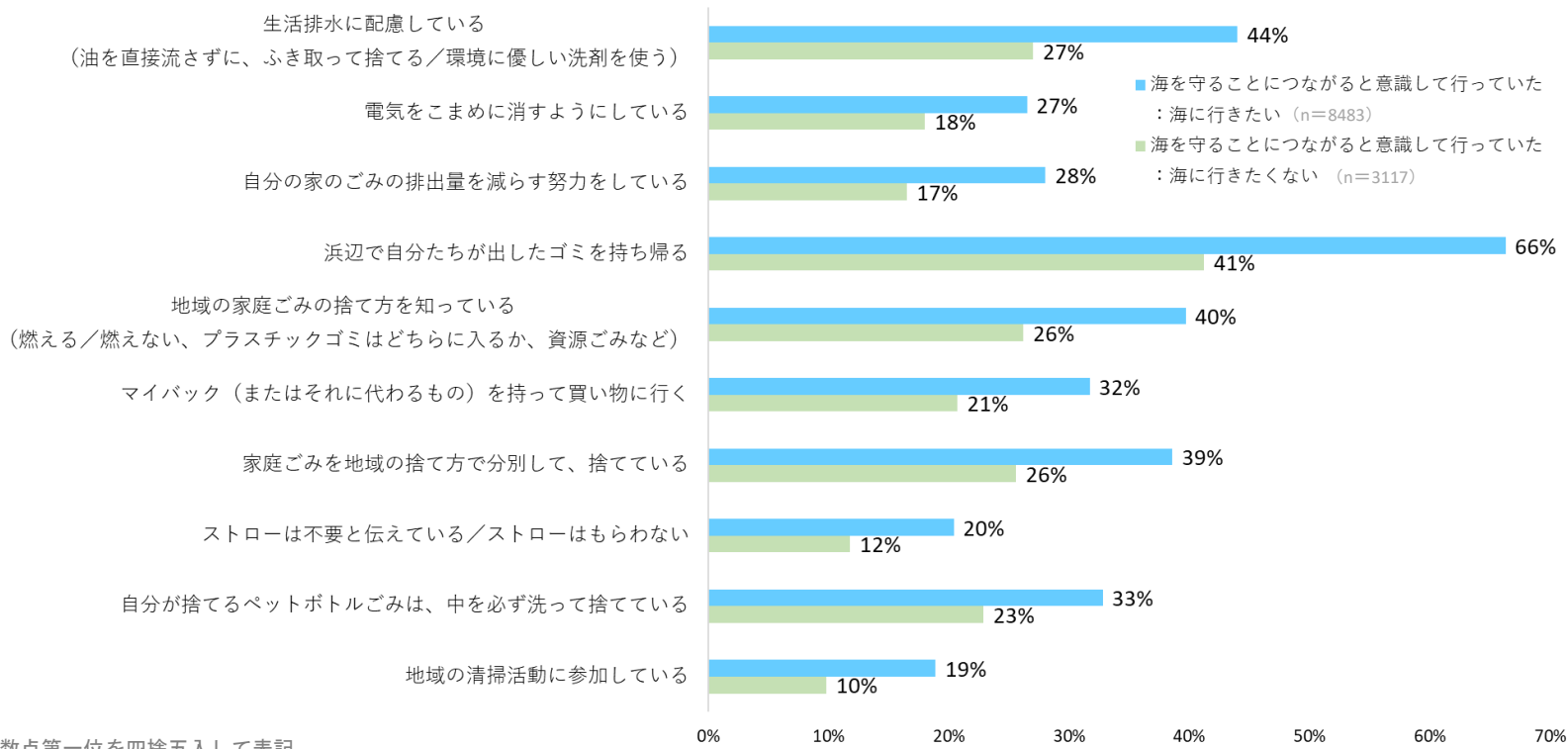


※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

海に「行きたくない」 - 海を守る行動について -

「海の豊かさを守ることを意識して行動しているかどうかは、いずれも「海に行きたい」よりも低く、海に対する意識が高くないことがわかった

豊かな海を守ることに繋がると意識して行っていたかどうか (%)

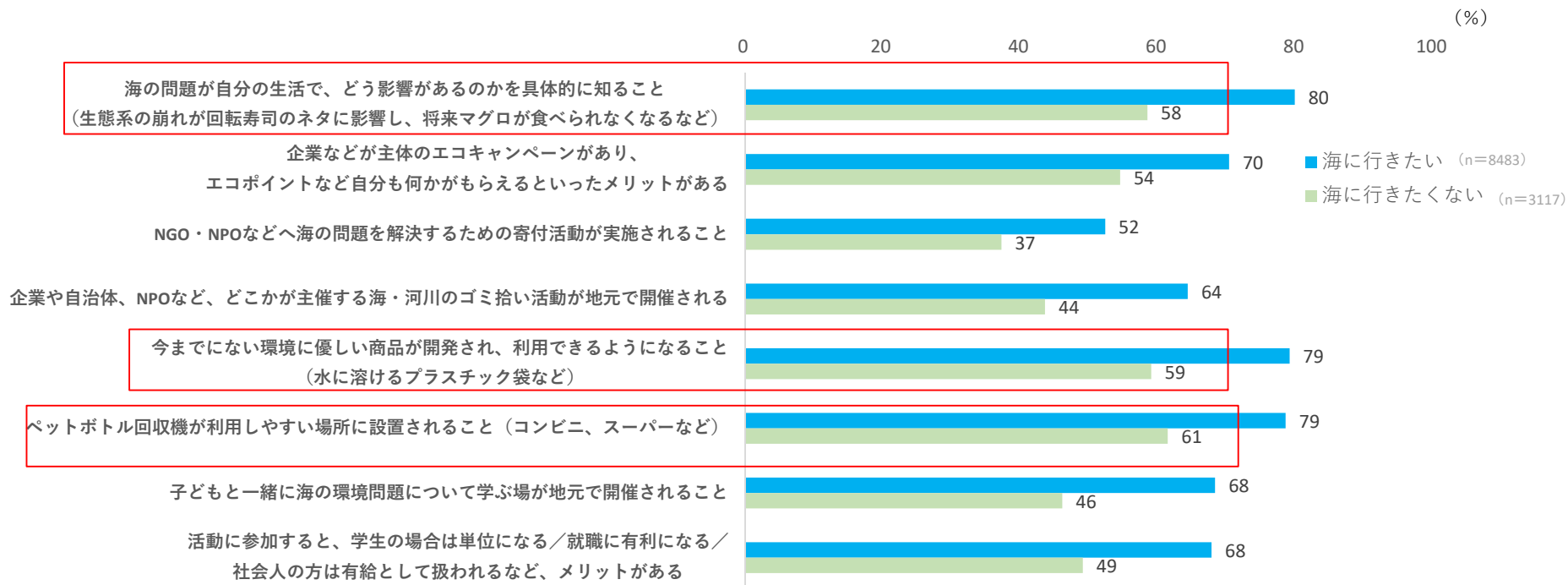


※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

海に「行きたくない」 – 海を守る活動 参加意向 –

「ペットボトル回収機が利用しやすい場所があれば利用したい」という意向も高く（61%）、
「環境にやさしい商品の利用に前向き」（59%）、
さらには「海の問題が自分の生活でどう影響があるかを具体的に知ることで、
海を守る気持ちが高まる」（58%）と、海を守る活動に前向きであることがわかった。

以下は豊かな海を守る活動となります。あなたの参加する気持ちが強まる活動、強まらない活動を教えてください。



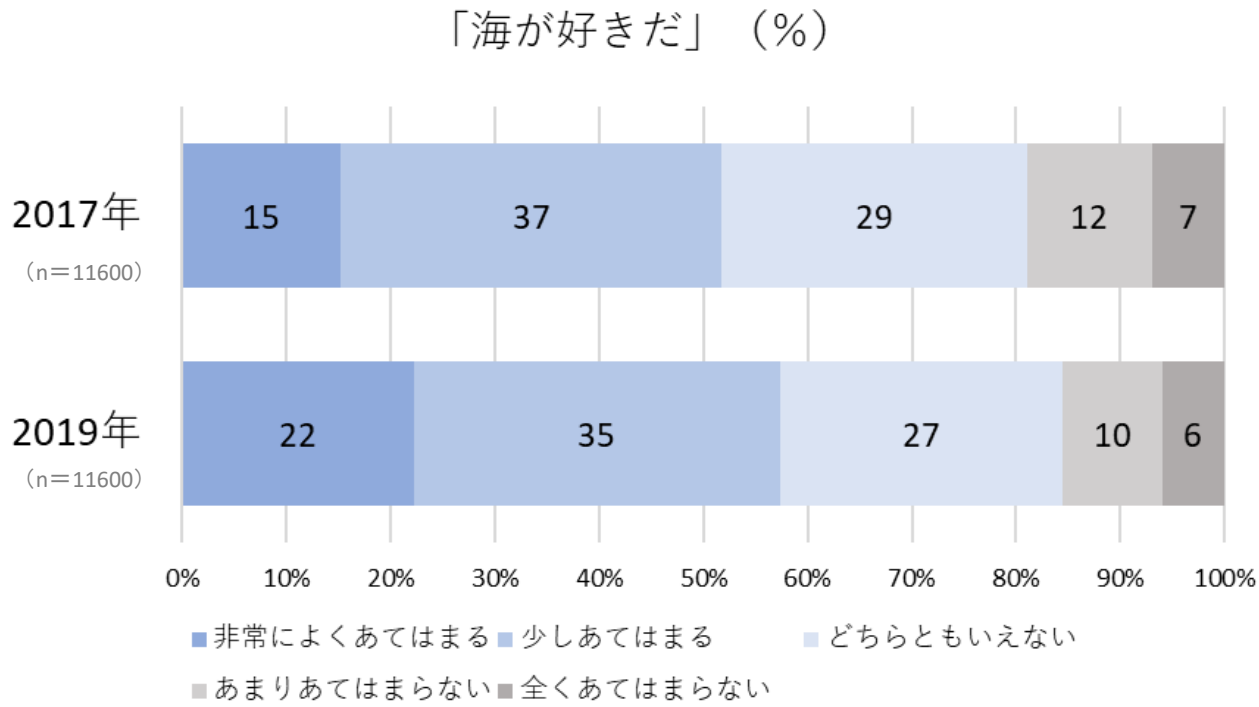
海に「行きたくない」の特徴まとめ

- ✓ **「海へ行きたくない」という気持ちも、子どもの頃の原体験と関係**
→子どもの頃に海に行った頻度が少ない／楽しい思い出が少ない
- ✓ **子どもの頃に海体験があること「大切なことだと思う」は5割**
→（行きたい：9割）
- ✓ **自身の子どもへも海体験を提供できていない**
→「特に必要と思わない」「親側が海を好きではない」「行ったことが少ないので行かない」といった、海に行く経験が少ないことから出てくる項目も目立つ
- ✓ **海を守る活動に参加する気持ちはあるが、何をすれば良いかわからないため行動に移せていない**
→個人で何をしたらいいかわからない、としながらも、「ペットボトル回収機が利用しやすい場所があれば利用したい」「環境にやさしい商品の利用に前向き」であった

參考資料

「海が好きだ」2017年、2019年比較

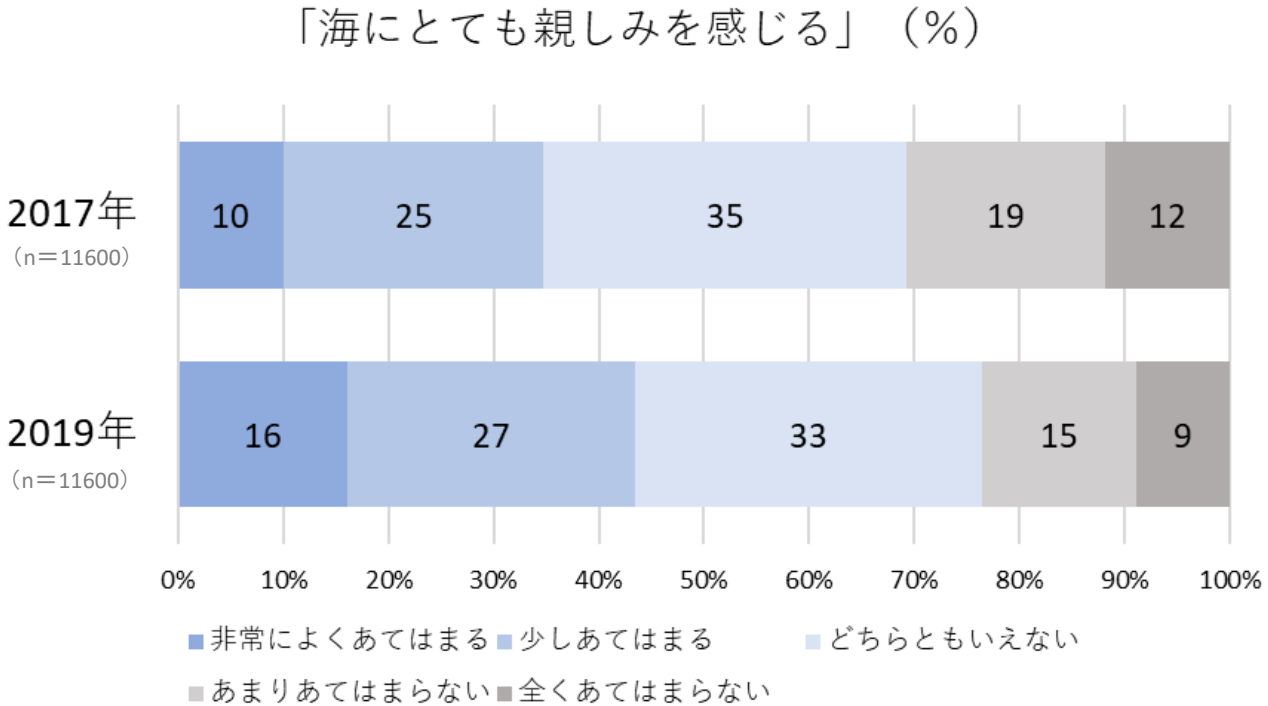
「あてはまる」 2017年は52%、2019年は57%



※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

「海にとっても親しみを感じる」2017年、2019年比較

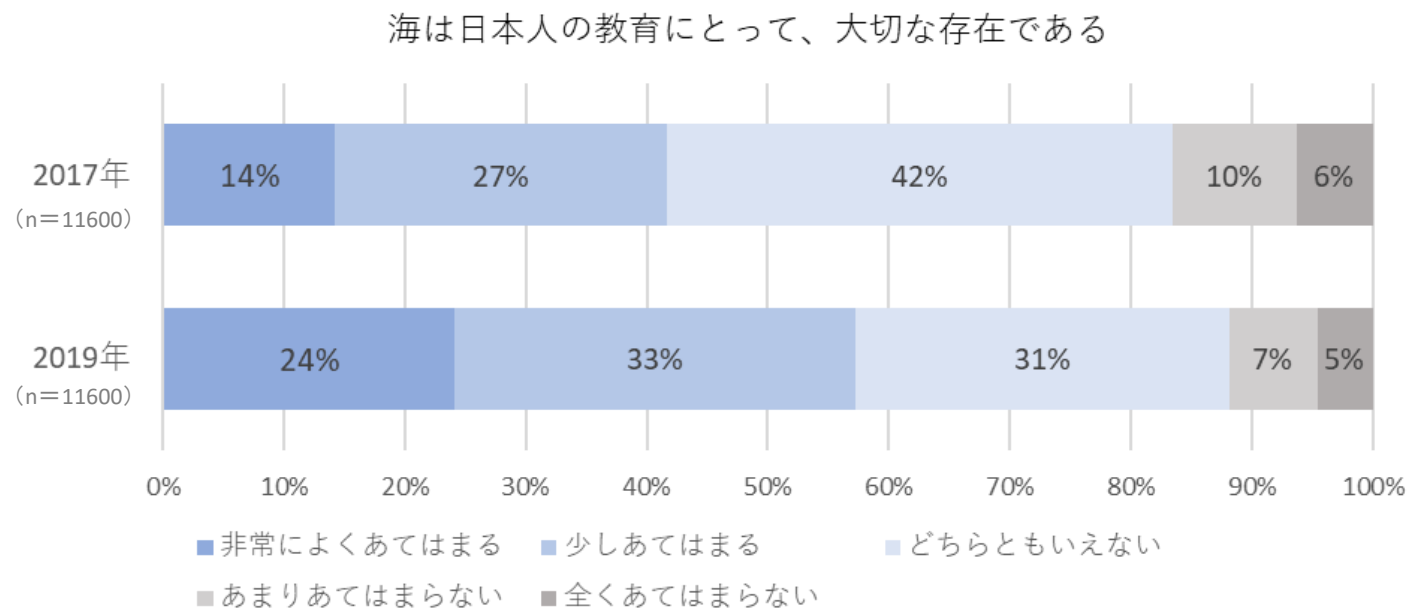
「あてはまる」 2017年は35%、2019年は43%



※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

「海は日本人の教育にとって、大切な存在である」2017年、2019年比較

「あてはまる」 2017年は42%、2019年は57%



※グラフは小数点第一位を四捨五入して表記

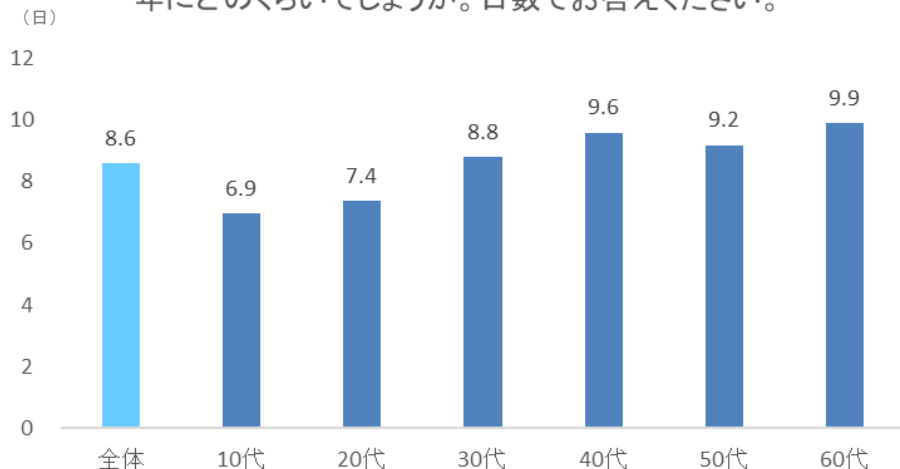
子ども時代の海体験 理想は8.6日(全体)

理想は、年に8.6日 年代別：10代でも7日

「子ども時代の海体験について、理想は年にどのくらいでしょうか」という質問では、全体での平均は、年8.6日の結果となった。今、最も海に行くことができていない10代においても、理想は年7日（6.9日）、との結果となった。

【年代別】

子ども時代の海体験について、理想としては、年にどのくらいでしょうか。日数でお答えください。



Q.子ども時代の海体験について、理想としては、年にどのくらいでしょうか。日数でお答えください。
理想は、年_日くらい

※あくまで理想となります。例) 日帰りでも年に4回が理想の場合は4日、毎月1回の場合は12日となります。1泊2日で年1回が理想の場合は、2日となります。
※海水浴など海に入るだけでなく、単純に海辺に行く、磯遊びをする、夕日や朝日を見るも想定してお答えください。

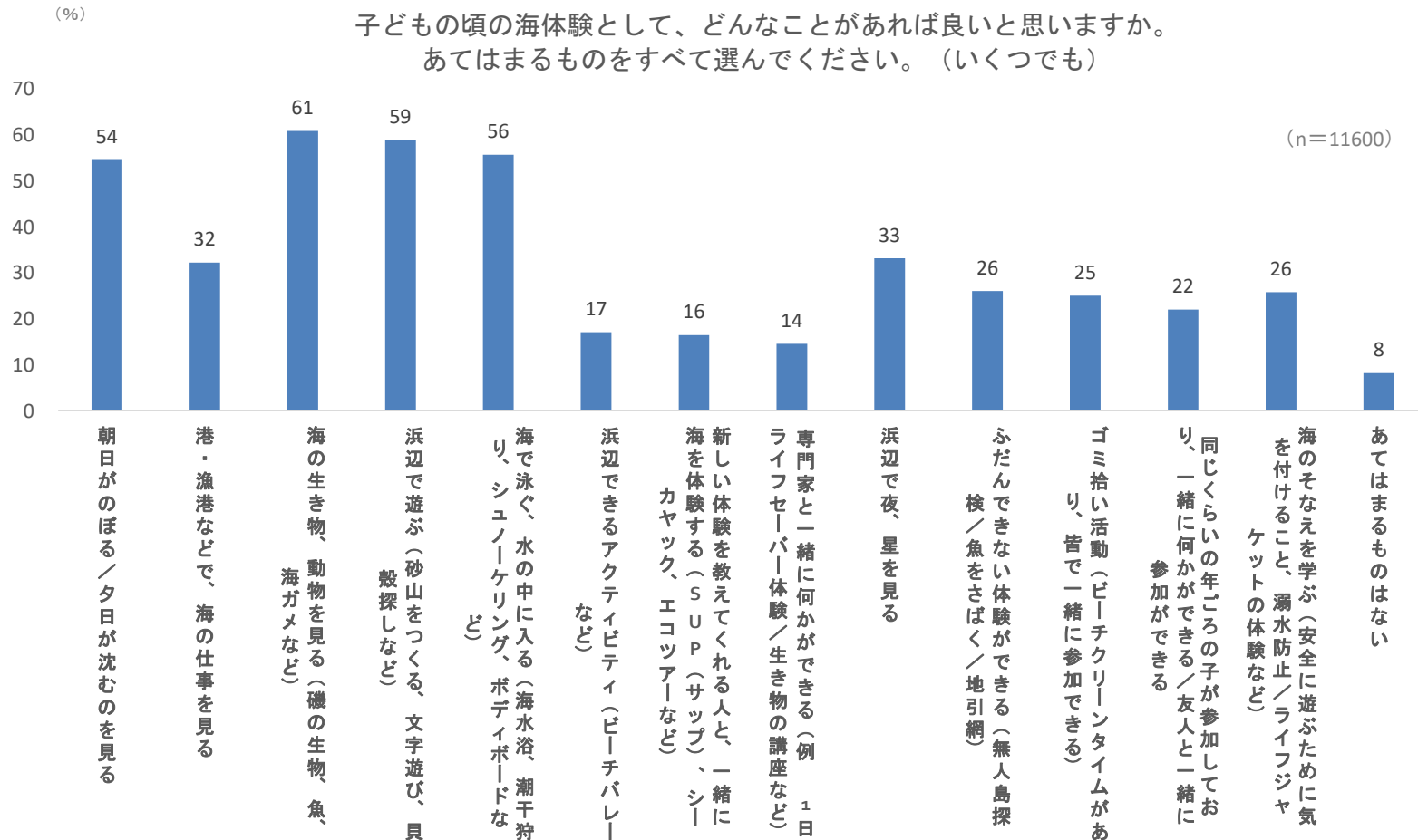
		n	平均値
全体		11600	8.6
年代別	10代	2200	6.9
	20代	1880	7.4
	30代	1880	8.8
	40代	1880	9.6
	50代	1880	9.2
	60代	1880	9.9

子ども時代の海体験 どんな体験があればいいか（全体）

トップ3：

「海の生き物・動物を見る」(61%) 「浜辺で遊ぶ」(59%) 「海で泳ぐ・水の中に入る」(56%)

・「子どもの頃の海体験として、どんなことがあれば良いと思いますか」と質問したところ、ベーシックな体験の「海の生き物を見る」「浜辺で遊ぶ」「海で泳ぐ・水の中に入る」がトップ3に入り、「朝日・夕日を見る」が次に続いた。



今後の対策についての提案

- 1. 行きたい派、行きたくない派に関わらず、親子でともに海への楽しい学びにつながる機会と体験の提供**
- 2. 自治体・教育機関や民間企業などのあらゆる機関を通じて誰もが参加できる海洋活動の充実**
- 3. 海と生活の関係性を理解できる海洋リテラシーの促進とベースとなる科学的根拠の充実やツール開発**
- 4. 海の日固定化を含む活動の活性化**

(その他データ)

- **子どもの頃の海体験**
- **現在の海洋問題の認知度**

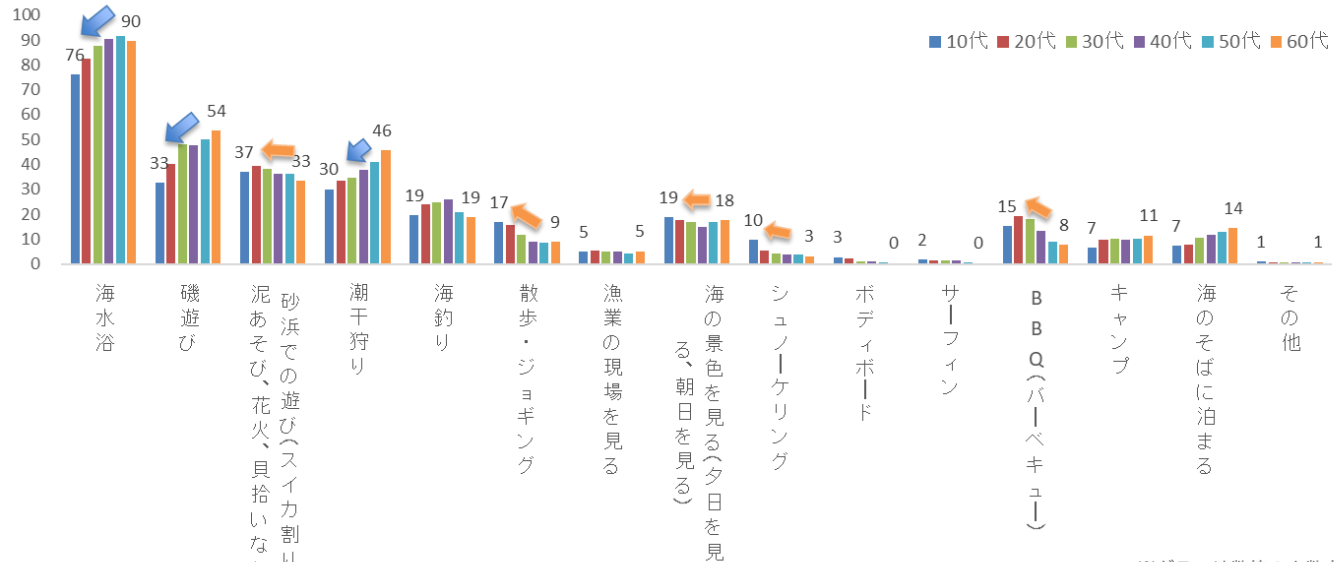
子どもの頃（小学生のころ）海でしたこと

海水浴、磯遊び、潮干狩り。海の水に入る・触れる体験は年代とともに減少傾向

- ・ 砂浜での遊び、散歩・ジョギング、海の景色を見る、といったライトな体験は、維持ないし微増傾向。
- ・ 唯一、「シュノーケリング」のみ微増。

(%)

子どもの頃(小学生のころ)、海に連れていってもらって何をしましたか。
あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)



※グラフは数値の小数点第一位を四捨五入

対象者：子どもの頃の海体験がある方

Q.子どもの頃（小学生のころ）、海に連れていってもらって何をしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

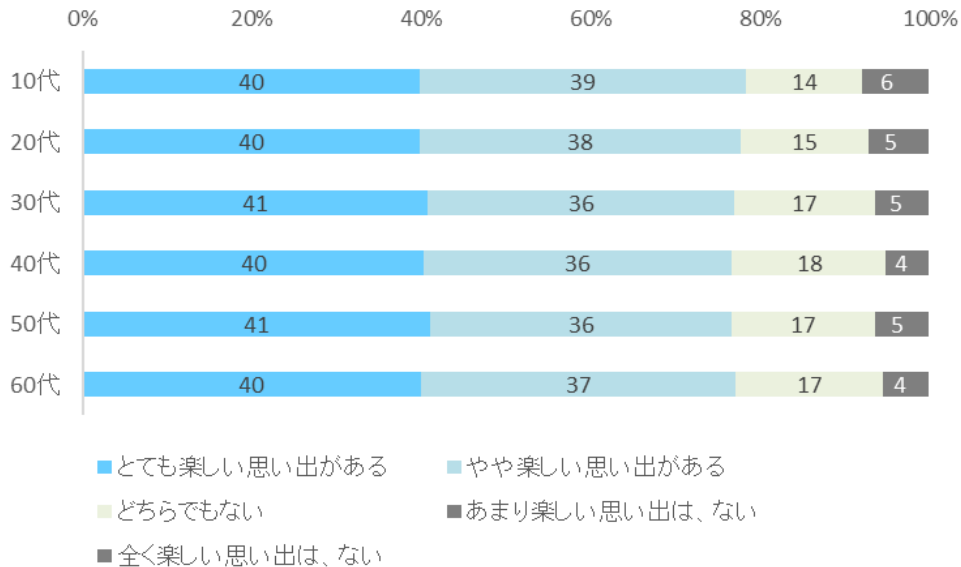
		n	海水浴	磯遊び	火、貝拾いなど	砂浜での遊び(スイカ割り、泥あそび、花)	潮干狩り	海釣り	散歩・ジョギング	漁業の現場を見る	海の景色を見る(夕日を見る、朝日を見る)	シュノーケリング	ボディボード	サーフィン	B B Q (バーベキュー)	キャンプ	海のそばに泊まる	その他
全体		10816	86.1	45.2	36.7	37.0	22.2	11.8	5.0	17.2	5.1	1.4	1.2	13.8	9.6	10.7	0.7	
年代別	10代	1953	76.0	32.8	36.9	30.1	19.5	16.8	5.1	18.8	9.6	2.8	1.8	15.2	6.6	7.3	1.0	
	20代	1723	82.6	40.2	39.3	33.4	24.0	15.7	5.3	17.7	5.6	2.3	1.6	19.4	9.9	7.8	0.6	
	30代	1789	87.4	48.2	38.1	34.5	24.6	11.8	5.1	17.0	4.1	1.1	1.3	18.2	10.0	10.4	0.6	
	40代	1799	90.3	47.7	36.1	37.7	26.0	9.0	5.2	14.8	3.8	1.1	1.3	13.3	9.9	11.7	0.8	
	50代	1784	91.4	49.9	36.3	41.1	20.9	8.4	4.0	17.0	3.9	0.6	0.7	9.0	10.0	12.8	0.7	
	60代	1768	89.6	53.6	33.4	45.8	18.8	9.0	5.1	17.8	3.2	0.4	0.5	7.7	11.5	14.4	0.8	

子どもの頃、海に行くことに対してどのような思い出があるか

全体では、「楽しい思い出がある」77% 年代別では差分なし

「海に行くことに対して、どのような思い出が残っていますか」という質問では、「楽しい思い出がある（とても楽しい+やや楽しい）」方は77%。
年代別でも差がみられない。

子どもの頃(小学生のころ)、あなたは海に行くことに対して、
どのような思い出が残っていますか。



Q.子どもの頃(小学生のころ)、あなたは海に行くことに対して、どのような思い出が残っていますか。
単一回答

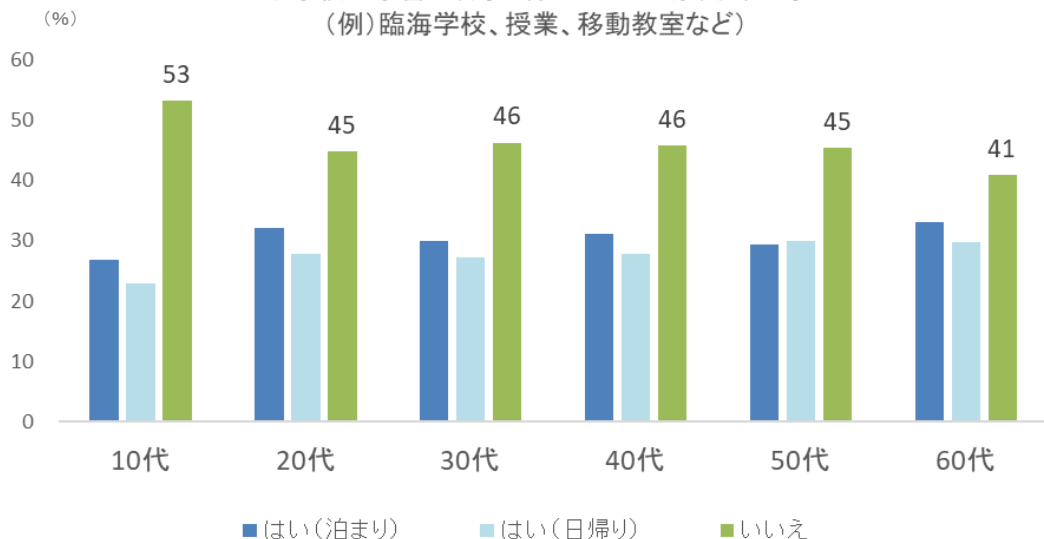
		n	がとても楽しい思い出	あや楽しい思い出	どちらでもない	は、あまり楽しい思い出は、ない	は、全く楽しい思い出は、ない	(とても楽しい+やや楽しい)	(全く+あまり)
全体		10816	40.2	37.0	16.3	4.8	1.7	77.3	6.4
年代別	10代	1953	39.7	38.7	13.7	5.8	2.0	78.4	7.9
	20代	1723	39.8	37.9	15.1	5.1	2.1	77.7	7.2
	30代	1789	40.7	36.3	16.7	4.7	1.7	77.0	6.4
	40代	1799	40.3	36.4	18.2	3.5	1.6	76.7	5.1
	50代	1784	41.0	35.6	17.0	5.3	1.1	76.6	6.4
	60代	1768	39.9	37.2	17.4	4.0	1.5	77.1	5.5

※グラフは数値の小数点第一位を四捨五入

小学校の学習で、海に行った経験の有無

小学校の学習で、海に行った経験 10代「いいえ」53%

小学校の学習で、海に行ったことがありますか。
(例)臨海学校、授業、移動教室など



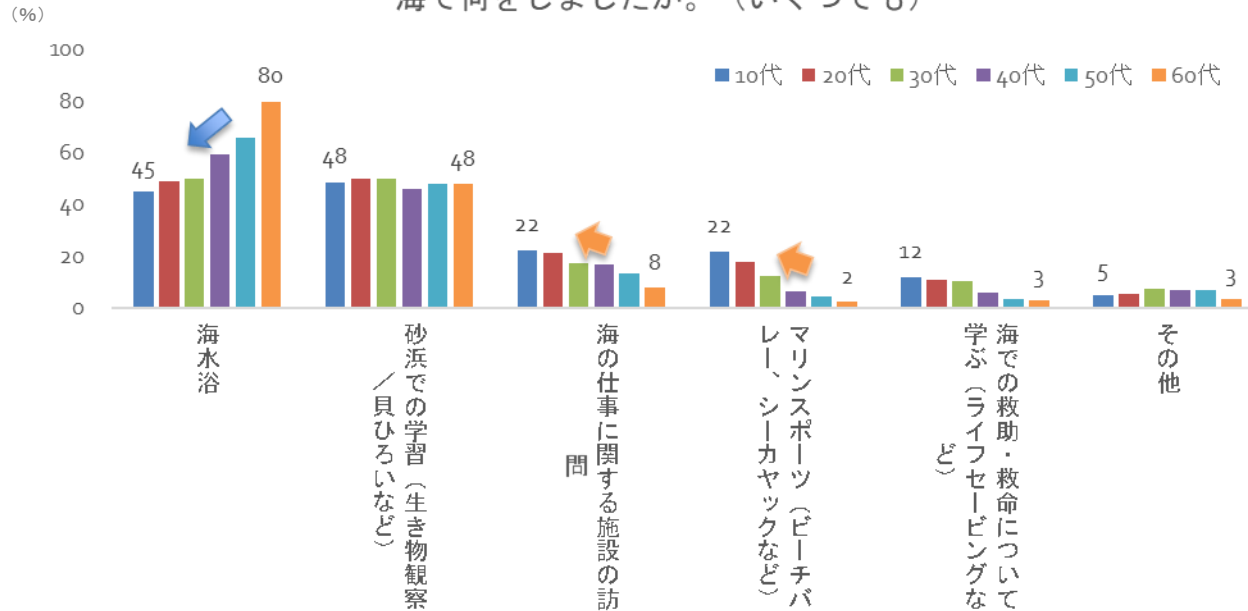
Q.小学校の学習で、海に行ったことがありますか。(例)臨海学校、授業、移動教室など (いくつでも)
はい:複数回答可 いいえ:排他選択肢 (いいえを選ぶと、はいは選べない)

		n	はい (泊まり)	はい (日帰り)	いいえ
全体		11600	30.3	27.4	46.2
年代別	10代	2200	26.9	22.9	53.2
	20代	1880	32.1	27.8	44.7
	30代	1880	29.9	27.2	46.2
	40代	1880	31.2	27.8	45.7
	50代	1880	29.4	29.9	45.3
	60代	1880	33.1	29.8	40.9

※グラフは数値の小数点第一位を四捨五入

小学校の学習で海に行った方 何をしたか

小学校の学習の一環で、海に行ったことのある方にお聞きします。
海で何をしましたか。(いくつでも)



Q.小学校の学習の一環で、海に行ったことのある方にお聞きします。海で何をしましたか。(いくつでも)
複数回答

※グラフは数値の小数点第一位を四捨五入

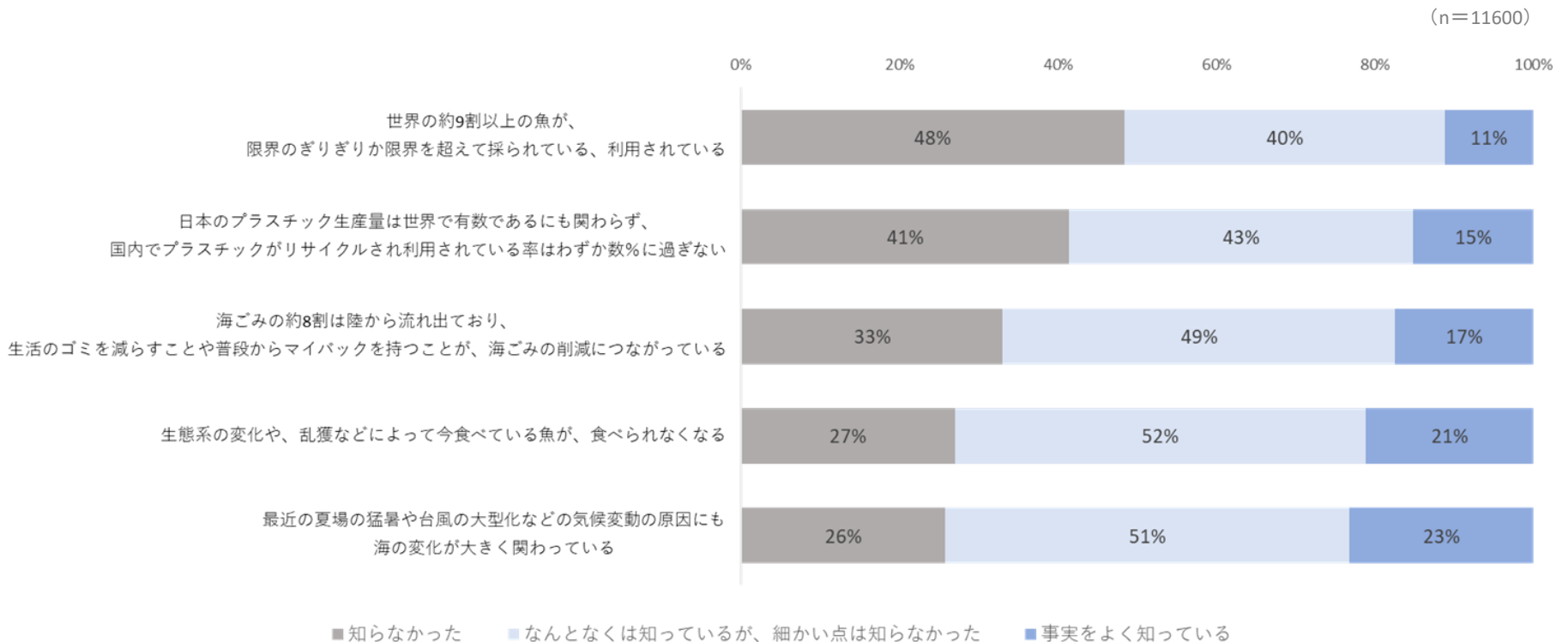
		n	海水浴	観察/貝ひろいなど)	砂浜での学習(生き物)	海の仕事に関する施設	クチバレー、シーカヤックなど)	マリンスポーツ(ビーチバレー、シーカヤックなど)	海での救助・救命について学ぶ(ライフセービングなど)	その他
全体		6240	58.3	48.3	16.3	10.7	7.4	5.6		
年代別	10代	1029	44.7	48.5	22.3	21.8	11.9	5.0		
	20代	1039	48.9	49.7	21.2	17.9	10.7	5.5		
	30代	1011	50.0	50.0	17.4	12.5	10.1	7.1		
	40代	1021	59.3	45.7	16.5	6.2	5.8	6.6		
	50代	1028	65.7	47.9	13.1	4.2	3.5	6.6		
	60代	1112	79.7	47.8	7.8	2.2	2.8	3.1		

小学校の学習で海に行った方においても、「海水浴」は減少傾向にある

現在の海洋問題の認知度

「世界の約9割以上の魚が、限界のぎりぎりか限界を超えて採られている、利用されている」ことを
48%が知らないと回答

・項目のほとんどが「なんとなくは知っているが、細かい点は知らなかった」が一番多く、事実をよく知っている人は1割～2割程度に留まった



※海に対する意識(本紙P7参照)「日本人の食にとって大切な存在」(78%)がトップであるにも関わらず、水産資源の枯渇の問題はよく知られていないということが判明